

経営比較分析表（令和4年度決算）

兵庫県地方独立行政法人明石市立市民病院 明石市立市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 1	指定病院の状況 2
直営	25	対象	透I 訓	救 臨 地 輪
人口(人)	建物面積 (㎡)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	24,608	非該当	非該当	7 : 1

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
329	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	329
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
327	-	327

グラフ凡例

■ 当該病院値(当該値)

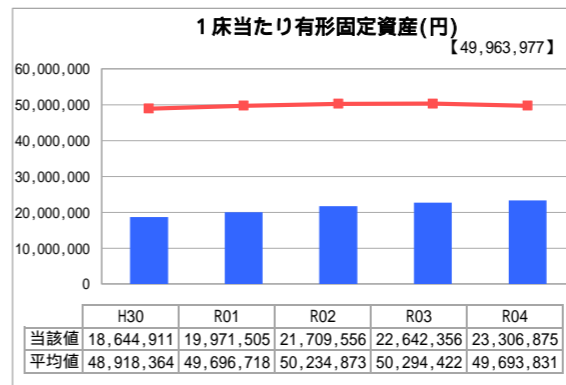
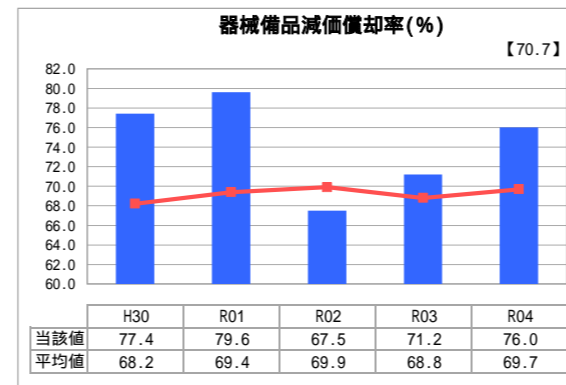
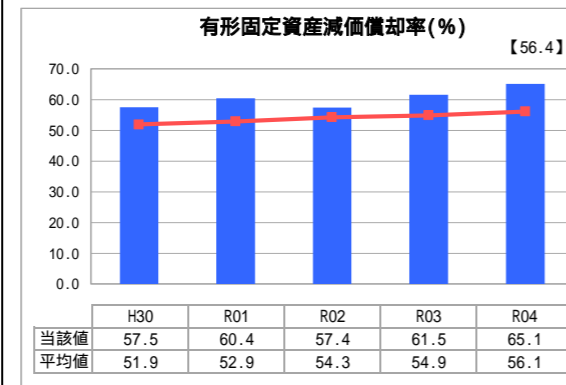
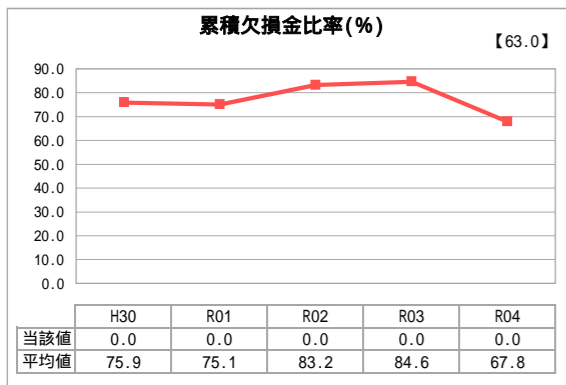
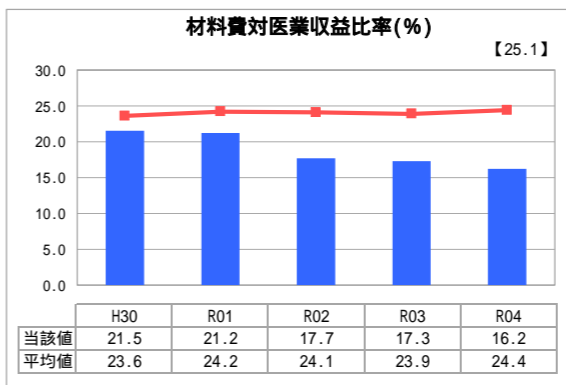
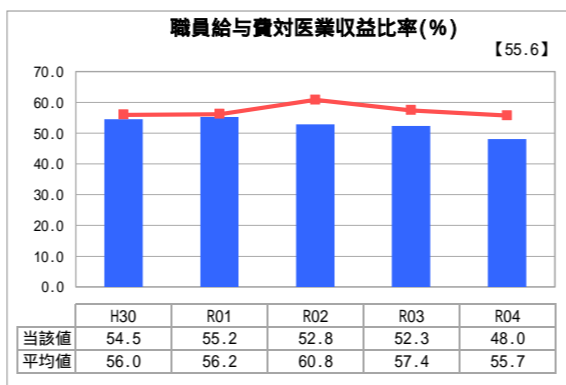
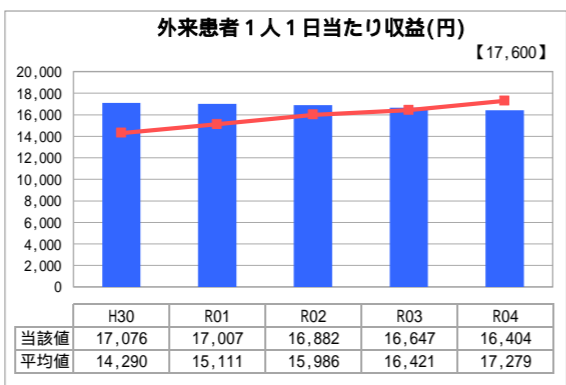
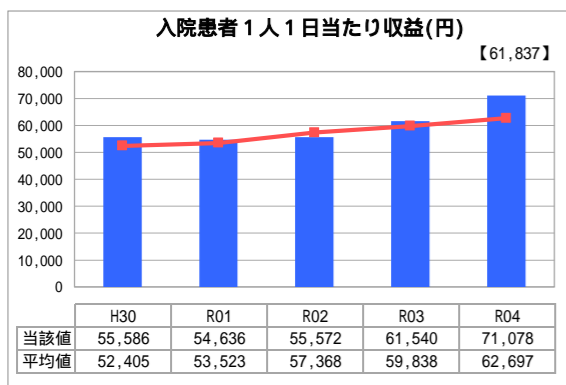
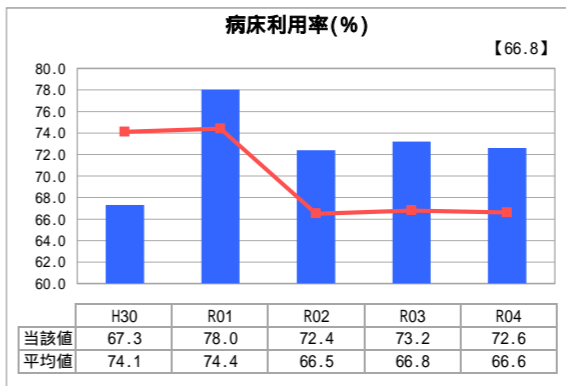
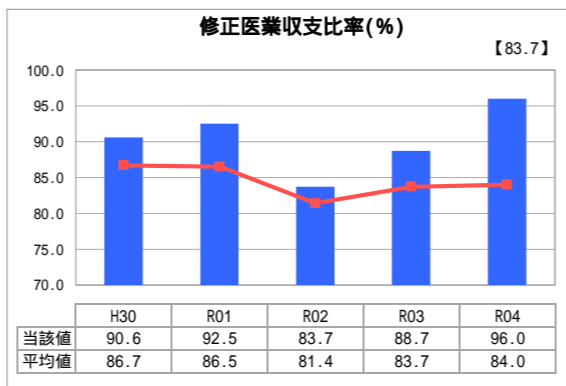
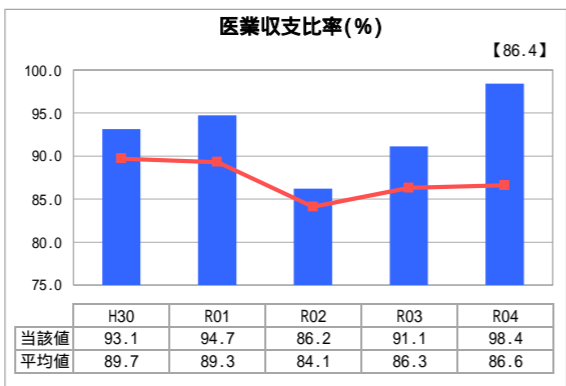
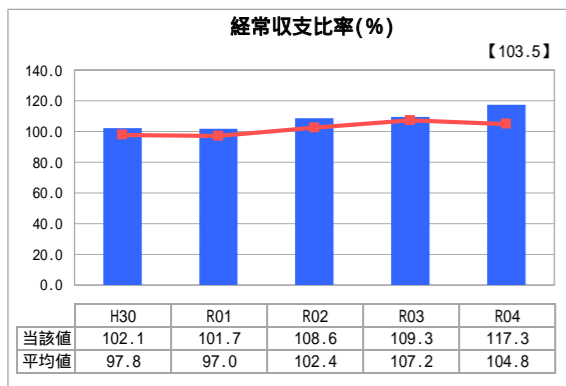
- 類似病院平均値(平均値)

【】 令和4年度全国平均

1 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療

2 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	平成23	-
-	年度	年度

地域において担っている役割

中核病院として地域の医療機関や市行政と連携のもと、高度な総合的医療を推進するとともに、この度の新型コロナウイルス感染症にみる感染症医療をはじめ、救急医療や小児医療、また、リハビリテーション医療などの政策医療を安定的かつ継続的に提供している。

将来人口推計に基づく地域医療構想を踏まえ、急性期医療を中心としつつも、今後ニーズが高まる回復期機能にも一定の軸足を置き、地域包括ケア病棟並びに回復期リハビリテーション病棟の稼働や、訪問看護ステーションの運営により、「在宅から入院そして在宅まで」をキーワードに、地域密着型の医療を提供している。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新型コロナウイルス感染症対応においては、令和2年度からは、重点医療機関として入院診療体制を確保し、コロナ対応にあたってきた。入院・外来患者数の増加が見込めない状況下において、外来診療単価は下降傾向にあり、病床利用率も回復しないものの、コロナ診療にかかる診療報酬上の特例措置の適正請求を行い、入院診療単価の向上等により医業収益が大きく改善した。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が平均値より9ポイント、器械備品減価償却率が6.3ポイント上回っており、1床当たり有形固定資産については、平均値より約2,600万円下回っている。平成23年10月の地方独立行政法人化以降、設備投資を抑制していた時期もあり、施設、設備や器械備品等の老朽化が進んでいる状況である。

今後も安心・安全な医療の提供を維持していくため、計画的な設備投資を図りながら、施設や設備の適正な保全に努め、自治体病院として求められる医療機能・役割を果たしていく必要がある。

全体総括

平成23年10月の地方独立行政法人化以降、医療の質の更なる向上と安定した経営基盤の確立に向け、経営努力を続けている。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、入院・外来患者数の増加が見込めない状況であったが、コロナ患者を受け入れ、診療報酬上の特例措置や補助金等により経常利益が確保され、更なる経営基盤の強化につながった。

一方、引き続き安心・安全な医療を提供していくためには、計画的な設備投資を図りながら、施設や設備の保全、機能維持を図る必要がある。

「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。